

2008年11月17日

「活性化委員会の見解」を受けて

関西テレビ放送株式会社

11月14日、関西テレビ活性化委員会より、2008年10月17日付当社「コンプライアンス・CSRレポート（2008年7月～9月）」に対する見解を頂戴致しました。これは10月17日の委員会でのご審議を経てお纏め頂いたものです。

当社の現在の取り組みについて、活性化委員会の方々には、これまでの再発防止や再生への諸施策に加え、環境自主行動計画の策定やメディアリテラシー活動などにつきまして、基本のご評価を頂いたものと認識しております。

また、委員会見解において言及されておりますように、厳しい経営環境の中でも、視聴率偏重に陥らず、当社の新たなブランド構築に向け、役員、社員一同が今後とも鋭意努力を続けてまいります。メディアリテラシー活動につきましても弛まず継続してまいります。

当社は（社）日本民間放送連盟におきまして、会員活動停止の状態が続いておりましたが、去る10月27日に会員社のご賛同をいただき、停止が解除されました。当社では、これを新たなスタートと受け止め、今後とも全社を挙げて努力を続けて参ります。

今回のレポートも前回同様、企業としての関西テレビが、視聴者の皆様に向けて発信して、つながりを作り上げるものと捉えており、開局50周年の節目を迎えたこれからも、定期的にこのような活動報告を続ける所存です。

以上